

地縁団体認可申請の手引き

— 町会の法人格取得について —

令和3年2月

羽咋市 総務課

はじめに

町会等は、市内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体です。通常、町会等で不動産等を保有していることになっていても、実際には、その登記名義は町会長等の個人名義、又は役員など複数の者による共有名義になっているかと思えます。

このような個人名義や共有名義の登記では、町会長等や役員が転居や死亡した場合等により、町会等の構成員でなくなった場合に所有者の名義変更をしなければなりません。場合によっては相続の問題も生じるなど、所有権をめぐるトラブルになる恐れも生じます。

そこで、地方自治法では、団体の名義で「地域的な共同活動のための不動産又は不動産に関する権利等を有する」方法が定めてあります。

- ・ 市長の認可により、法人格を取得することができます。
- ・ 法人格を取得することにより、法人名義（例「〇〇町会」など）で不動産又は不動産に関する権利等を登記することができます。

1 認可に必要な要件 < 4 項目 >

法人格を得ることにより、不動産等を団体名義で保有し登記できるようにすることが目的ですから、認可を受けようとする団体が現に不動産又は不動産に関する権利等を保有しているか、保有する予定があることが認可の前提になります。

(1) 団体の目的

その区域の住民相互の連絡、環境整備、集会施設の維持管理等良好な地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を行うことを目的とし、現に活動を行っていること。

活動内容が特定分野のみの団体は、該当しません。

- ⇒ 現にその活動を行っていることを証明するものとは、前年度の活動実績報告書や事業報告書等が該当します。

P T A、スポーツ団体等は該当しません。

(2) 区域

団体の区域が、住民にとって客観的に明らかに定められていること。

また、団体がその区域で相当の期間にわたって存続していること。

- ⇒ その団体の構成員のみならず市民にとって客観的に明らかな形で境界が画され、規約に明記されていること。

区域は、字及び地番又は住居表示により表示するほか、住民にとって客観的に明らかな区域と認識できる場合には、道路や河川等により区域を画することもできます。

(3) 構成員

区域に住所を有するすべての個人は、構成員になることができ、その相当数の者が現に構成員となっていること。

⇒ 区域に住所を有するすべての個人が構成員になれる旨が規約に定められていること。すべての個人とは、「年齢、性別等を問わず、区域に住所を有する個人すべて」を意味します。

その相当数とは区域の住民の過半数以上を意味し、現に構成員になっていることが構成員名簿により確認できること。

入会、退会の際には、本人の意思が会として確認できることが必要ですが、その際いかなる意味でも本人の意思に制約を加えることは認められません。

また、区域内に住所を有する法人等の団体が、賛助会員等になることもできます。

(4) 規約

規約を定めていること。

⇒ 規約を定めて団体の名称や目的などを対外的に明らかにし、組織の管理運営方法を明確にすることが必要です。

規約には、以下の8項目については必ず定めなければなりません、それ以外の事項を定めることは差し支えありません。

法令に従った内容とする必要がある場合を除き、役員構成や諸会議など団体の実状に応じて定めることとなります。

「規約例」を参照してください。

- ① 目的
- ② 名称
- ③ 区域
- ④ 主たる事務所の所在地
- ⑤ 構成員の資格に関する事項
- ⑥ 代表者に関する事項
- ⑦ 会議に関する事項
- ⑧ 資産に関する事項

2 認可申請の方法

(1) 申請

団体の自主的な判断により、団体の代表者が認可の申請書類を揃えて羽咋市長に対し認可を申請します。

(2) 総会決定事項

申請に必要な次の事項は、団体の総会において決定しておくことが必要です。理事会や役員会等の決定ではいけません。

- ① 法人格認可を申請する旨の決定
- ② 認可要件に合致する規約の決定
- ③ 構成員の確定
- ④ 代表者の決定
- ⑤ 不動産等資産の確定又は取得の予定
- ⑥ 申請者を代表者とする旨の決定

(3) 申請に必要な書類 <7種類>

① **認可申請書「様式1」**

認可申請書を提出する年月日を、申請年月日として記入します。

② **申請する団体の規約**

③ **認可を申請することについて総会で議決したことを証する書類**

認可を申請する旨を決定した総会の議事録の写しで、議長及び議事録署名人の署名のあるもの。

④ **構成員の名簿「様式2」**

構成員全員の住所、氏名を記載したものがが必要です。

⑤ **保有資産目録（保有予定資産目録）**

申請時に不動産又は不動産に関する権利等を保有している場合には、

・ **保有資産目録「様式3」**。

申請時において、将来これらを保有することを予定している場合には、

・ **保有予定資産目録「様式4」**。

なお、保有予定資産目録の資産の「取得予定時期」は、認可申請年月日とできるだけ接近していることが望ましく、特段の事情がなければ認可申請年月日から数ヶ月以内とします。

⑥ **活動を現に行っていることを記載した書類**

前年度の事業活動報告として総会に提出した報告書等です。具体的な活動内容がわかる程度の記載が必要です。

⑦ **申請者が代表者であることを証する書類<アとイ>**

ア 申請者を代表者に選出する旨の議決を行った総会の議事録の写しで、議長及び議事録署名人の署名のあるもの。(③と併記でも可)

イ **町会長就任承諾書「様式5」**

申請者が代表者になることを受託した旨の承諾書等の写しで、申請者本人の署名のあるもの。

(4) 認可申請書の提出先

羽咋市役所 総務課（3階） 電話 22-7161

(5) 認可になるまでの期間

羽咋市は、地縁団体を認可したときは告示します。告示をもって、法人登記が完了したことになります。

また、代表者には、認可書を送付します。

なお、申請を受け付けてから認可の告示までの期間は、概ね1週間程度です。

3 認可後の取り扱い

(1) 団体名義で資産の登記ができます。

団体名義の不動産登記は、法務局へ手続きをします。その際の添付書類として、羽咋市が作成する「地縁団体台帳」の写し（証明付き）が必要になります。

「地縁団体台帳」の写し（証明付き）は、総務課へ申請（手数料300円）し、交付を受けてください。

※ どなたでも申請可能ですが、申請者の本人確認のため身分証明書（運転免許証等）が必要となります。

(2) 法人格

認可を受けた団体は、公法人（特定の国家的目的のために設立された法人で、必要な限度で行政権を付与されていることがある。）ではありません。

羽咋市との関係は、認可前と変わりません。

(3) 税金

認可を受けた後、財産を団体の名義へ変更する際（無償譲渡）発生する譲渡所得については課税されません。

なお、収益事業については、法人税等が課税されます。

(4) 印鑑登録

個人の印鑑登録と同様に、「〇〇町会之印」などのように団体の印鑑登録ができます。総務課で手続きをして下さい。

印鑑登録の際には、印鑑登録申請書に、団体の代表者個人の印（羽咋市に印鑑登録してあるもの）を押印し、代表者個人の印鑑登録証明書を添付する必要があります。

また、団体の印については、登録原票を作成するため一度預かり、作成後に返却します。

※ 代表者以外が申請する場合は、代表者からの委任状が必要となります。

① 団体の印鑑についての規格等は次のとおりです。

ア 登録できる印鑑は、1団体について1個。

イ 印影の大きさが1辺の長さ8mmの正方形に収まるもの、又は、1辺の長さ30mmの正方形に収まらないものは不可。

ウ ゴム印その他の印鑑で変形しやすいものや鮮明でないものは不可。

② 認可地縁団体印鑑登録証明書の交付には、登録した団体の印と、代表者の印（印鑑登録申請時に押印した印）、代表者の身分証明書（運転免許証等）、手数料300円が必要となります。

(5) 規約に変更があった場合

規約変更認可申請書「様式6」を提出し、羽咋市長の認可を受けて下さい。
提出先は認可申請書の場合と同じです。
この際、次の書類を添付して下さい。

- ① 規約変更の内容及び理由を記載した書類
- ② 規約変更を総会で議決したことを証する書類
(議事録の写しで、議長、議事録署名人の署名のあるもの)

(6) 告示事項に変更があった場合

地縁団体を認可する際の告示事項は、次のとおりです。

- ア 名称、イ 規約に定める目的、ウ 区域、エ 主たる事務所
- オ 代表者の氏名及び住所
- カ 裁判所による代表者の職務執行の停止の有無並びに職務代行者の選任の有無（職務代行者が選任されている場合は、その氏名及び住所）
- キ 代理人の有無（代理人がある場合は、その氏名及び住所）
- ク 規約に解散の事由を定めたときは、その事由
- ケ 認可年月日

上記ア～クの内容に変更が生じた場合は、**告示事項変更届出書「様式7」**を提出して下さい。提出先は認可申請書の場合と同じです。
この際、添付する「変更があった旨を証する書類」は、

- ① 総会の議事録の写し（議長、議事録署名人の署名のあるもの）
- ② 代表者が変更された場合には、**町会長就任承諾書「様式5」**（署名のあるもの）も必要です。

(7) 告示事項の変更・規約の変更の場合の認可までの期間

告示事項の変更届出書、又は規約変更認可申請を受け付けてから、認可の告示までの期間は、概ね1週間程度です。

4 申請書等の記入例

(1) 認可申請

- ① 認可申請書「様式1」 . . . P 7
- ② 申請する団体の規約 ※ 別冊「規約例」
- ③ 総会議事録（認可申請用）の作成例 . . . P 8
- ④ 構成員の名簿「様式2」 . . . P 9
- ⑤ 保有資産目録「様式3」 . . . P 10
- ⑥ 保有予定資産目録「様式4」 . . . P 11
- ⑦ 町会長就任承諾書「様式5」 . . . P 12

(2) 規約変更認可申請

- ① 規約変更認可申請書「様式6」 . . . P 13
- ② 規約変更の内容及び理由を記載した書類の作成例 . . . P 14
- ③ 総会議事録（規約変更）の作成例 . . . P 15

(3) 告示事項変更届（代表者変更の場合）

- ① 告示事項変更届出書「様式7」 . . . P 16
- ② 総会議事録（代表者変更）の作成例 . . . P 17
- ③ 町会長就任承諾書「様式5」 ※ 省略

(1) 認可申請 ① 認可申請書 記入例

様式 1

届出日は、「認可申請書」を提出する日付を記入してください。

令和 年 月 日

羽咋市長 様

認可を受けようとする地縁による団体の主たる事務所の所在地及び名称

事務所を、集会施設に置く場合は、「集会所の住所」、代表者宅に置く場合は、「代表者の住所」

所在地 **羽咋市〇〇〇町〇〇〇番地**

名称 **〇〇〇町会**

代表者の住所及び氏名

住所 **羽咋市〇〇〇町〇〇〇番地**

氏名 **羽咋 太郎**

認 可 申 請 書

地方自治法第260条の2第1項の規定により、不動産又は不動産に関する権利等を保有するため認可を受けたいので、別添書類を添えて申請します。

(別添書類)

1 規約又は会則

議長及び、議事録署名人の署名のある総会議事録の写し

2 認可を申請することについて総会で議決したことを証する書類

3 構成員の名簿

4 保有資産目録又は保有予定資産目録

前年度の事業報告と決算書及び当該年度の事業計画と予算書

5 良好な地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を現に行なっていることを記載した書類

6 申請者が代表者(町会長)であることを証する書類

(1) 認可申請 ③ 総会議事録（認可申請用）の作成例

〇〇町会総会議事録

- 1 日 時 令和〇〇年〇〇月〇〇日
午前（後）〇時〇分 開会
午前（後）〇時〇分 閉会
- 2 場 所 〇〇〇町会館
- 3 出席者 会員数〇〇〇名
出席者〇〇〇名（うち委任状〇〇名）
- 4 議長選出
- 5 議事録署名人の選任（議長及びほか2名）
- 6 議決事項
第1号議案 地方自治法第260条の2第1項の規定に基づき不動産又は
不動産に関する権利等を保有するため認可を申請する件
第2号議案 規約の承認に関する件
第3号議案 保有資産の承認に関する件
第4号議案 代表者の選任に関する件
第5号議案 （その他の案件）〇〇〇〇…
(例：事業報告、決算報告、事業計画、予算…)
- 7 議事の経過の概要及びその結果
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇…
- 8 その他の事項
〇〇〇〇〇〇〇〇〇…

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び選任された署名人2名がここに署名する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

議 長 〇 〇 〇 〇
署 名 人 〇 〇 〇 〇
〃 〇 〇 〇 〇

(1) 認可申請 ④ 構成員の名簿 記入例

様式 2

構 成 員 名 簿

申請時点での全構成員の名簿を作成してください。

(令和 年 月 日現在)

整理 番号	氏 名	住 所	備 考
例 1	羽昨 太郎	羽昨市〇〇町〇〇番地	
例 2	花子	〃	
例 3	呂知 次郎	羽昨市〇〇町〇〇番地	

5

10

15

(1) 認可申請 ⑤ 保有資産目録 記入例

様式3

保有資産目録

申請時に保有している不動産又は不動産に関する権利等を記入してください。

団体の名称

〇〇〇町会
令和 年 月 日 現在

1 不動産

- (1) 所有権を有する不動産
ア 建物

名 称	延床面積	所 在 地
〇〇〇町会館	〇〇〇㎡	羽咋市〇〇〇町〇〇〇番地

イ 土地

地 目	面 積	所 在 地
宅地	〇〇〇㎡	羽咋市〇〇〇町〇〇〇番地

2 不動産に関する権利等

- (1) 所有権以外の権原により保有している不動産

権 原	不動産の種類	所 在 地

- (2) 地域的な共同活動を行うためのその他の資産

資 産 の 種 類 及 び 数 量

(1) 認可申請 ⑥ 保有予定資産目録 記入例

様式 4

保有予定資産目録

申請時において、所有権を取得する予定の不動産又は不動産に関する権利について記入してください。

団体の名称

〇〇〇町会

令和 年 月 日 現在

1 不動産

不動産の種類	保有予定不動産の取得予定時期	購入の相手方	保有予定不動産の所在地
宅地	令和〇年〇月	〇〇〇〇	羽咋市〇〇町〇〇番地

2 不動産に関する権利等

資産の種類	権 限	権限取得の予定時期

(1) 認可申請 ⑦ 町会長就任承諾書 記入例

様式5

町 会 長 就 任 承 諾 書

私は、令和〇〇年〇〇月〇〇日（〇曜日）の〇〇〇町会の総会において、町会長に選任されましたので、その就任を承諾いたします。

令和 年 月 日

町会長に就任した日付

住 所 羽咋市 町 番地

本人の署名をお願いします。

氏 名 _____

(2) 規約変更認可申請 ① 規約変更認可申請書 記入例

様式 6

令和 年 月 日

羽咋市長 様

地縁による団体の名称及び主たる事務所の所在地

所在地 羽咋市〇〇〇町〇〇〇番地

名称 〇〇〇町会

代表者の住所及び氏名

住所 羽咋市〇〇〇町〇〇〇番地

氏名 羽咋 太郎

規約変更認可申請書

地方自治法第260条の3第2項に規定する規約の変更の認可を受けたいので、別添書類を添えて申請します。

(別添書類)

- 1 規約変更の内容及び理由を記載した書類
- 2 規約変更を総会で議決したことを証する書類

議長及び、議事録署名人の署名のある
総会議事録の写し

(2) 規約変更認可申請 ② 規約変更の内容及び理由の作成例

○町会規約変更の内容及び理由

変更箇所

「第〇〇条 ○〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇とする。」

これを下記のとおり変更する。

「第〇〇条 △△△△△△△△△△△とする。」

変更の理由

(2) 規約変更認可申請 ③ 総会議事録の作成例

《様式は任意ですが、次の内容を記載してください。》

- ・規約の変更の内容
 - ※「別紙のとおり」とする場合は、別紙の添付が必要となります。
- ・規約を変更すること及び変更の内容について、総会で議決（可決、承認）したこと
- ・その他、それぞれの町会規約で定められている内容

〇〇町会総会議事録

- 日 時 令和〇〇年〇〇月〇〇日 午後〇時〇分 開会
午後〇時〇分 閉会
- 場 所 〇〇〇〇町会館
- 出席者 会員数〇〇〇名 出席者〇〇〇名（うち委任状〇〇名）
- 議長選出
- 議事録署名人の選任（議長及びほか2名）
- 議決事項
 - 第1号議案 令和〇年度活動報告の件
 - 第2号議案 // 決算書の件
 - 第3号議案 令和〇年度活動計画（案）の件
 - 第4号議案 // 予算書（案）の件
 - 第5号議案 規約の変更に関する件**
 - 第6号議案 （その他の案件）〇〇〇〇
- 議事の経過の概要及びその結果
 - 第1号議案について〇〇〇〇…
〇〇〇〇〇〇…
 - 第5号議案について**町会規約第〇〇条を「□□□」から「△△△」に変更することが提案された。…原案とおり満場一致で可決された。**
 - 第6号議案について〇〇〇〇…
- その他の事項
〇〇〇〇〇〇〇〇…

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び選任された署名人2名がここに署名する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

議 長 〇 〇 〇 〇
署 名人 〇 〇 〇 〇
// 〇 〇 〇 〇

(3) ① 告示事項変更届出書（代表者変更の場合） 記入例

様式7

届出日は、「2変更の年月日」以降の日付として
ください。（同日も可）

令和 年 月 日

羽咋市長 様

地縁による団体の名称及び主たる事務所の
所在地

所在地 羽咋市〇〇〇町〇〇〇番地

名称 〇〇〇町会

旧代表者の住所、氏名です。

代表者の住所及び氏名

住所 羽咋市〇〇〇町〇〇〇番地

氏名 羽咋 太郎

告示事項変更届出書

下記事項について変更があったので、地方自治法第260条の2第11項の
規定により、告示された事項に変更があった旨を証する書類を添えて届け出ま
す。

記

1 変更があった事項及びその内容

(1) 代表者の変更

氏名 羽咋 二郎

住所 羽咋市〇〇町〇番地

(2) 主たる事務所の所在地の変更

石川県羽咋市〇〇町〇番地

主たる事務所を町会長宅に置いている場
合、代表者の変更に伴い、主たる事務所の
所在地も変更となります。

新代表者の氏名、住所です。

新代表者の住所です。
（石川県から記入）

2 変更の年月日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

変更の年月日は、総会日以降の日付と
してください。（同日も可）

3 変更の理由

(1) 任期満了のため (2) 主たる事務所の所在地が代表者宅にあるため

4 添付書類

総会資料及び議事録
就任承諾書

議長及び、議事録署名人の署名のある
総会議事録の写し

(3) ② 告示事項変更届 総会議事録（代表者変更）の作成例

《様式は任意ですが、次の内容を記載してください。》

- ・新しい代表者の氏名
- ・代表者の変更（新しい代表者の選任）について、総会で議決（可決、承認）したこと
- ・その他、それぞれの町会規約で定められている内容

〇〇町会総会議事録

- 1 日 時 令和〇〇年〇〇月〇〇日 午後〇時〇分 開会
午後〇時〇分 閉会
- 2 場 所 〇〇〇〇町会館
- 3 出席者 会員数〇〇〇名 出席者〇〇〇名（うち委任状〇〇名）
- 4 議長選出
- 5 議事録署名人の選任（議長及びほか2名）
- 6 議決事項
第1号議案 令和〇年度活動報告の件
第2号議案 // 決算書の件
第3号議案 令和〇年度活動計画（案）の件
第4号議案 // 予算書（案）の件
第5号議案 代表者の選任に関する件
第6号議案 （その他の案件）〇〇〇〇
- 7 議事の経過の概要及びその結果
第1号議案について〇〇〇〇…
〇〇〇〇〇〇…
第5号議案について新しい代表者に■■■■氏が推薦された。…満場一致で承認された。
第6号議案について〇〇〇〇…
- 8 その他の事項
〇〇〇〇〇〇〇〇…

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び選任された署名人2名がここに署名する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

議 長 〇 〇 〇 〇
署 名 人 〇 〇 〇 〇
// 〇 〇 〇 〇